



ケアマネジャー専用の
記録プラットフォーム

記録をひとつに。
ケアマネジメントに、
もっと時間を。

iPadなどのタブレットで会話を録音し、利用者の話に集中。支援経過・モニタリング・担当者会議録など、毎日の記録をCareNoteに統合します。

タブレット録音の活用イメージ

1 記録業務の「困った」を、ひとつずつ整えます



支援経過や会議録が、
Excelやノートに分散



同じ情報を
何度も転記し、
入力ミスも心配



実地指導前の記録整理
で残業が発生



期限管理が属人化し、
漏れや減算リスク

2 CareNoteで変わること

記録を探す・移す・確かめる
時間を減らします。

場面	導入前	導入後
訪問記録	帰社後にExcelへ転記（10～15分）	訪問先でその場入力（2～3分）
月次集計	ほぼ1日仕事	自動集計
期限管理	手動チェック・漏れのリスク	90日前から自動アラート
記録検索	紙の台帳を1冊ずつ確認	利用者・カテゴリ・期間で即時検索
利用者登録	保険証を見ながら手書き転記	統合DBから自動取得

※記載の効果は当社試算です。事業所の運用状況により異なります。



介護の働き方を、
現場から変えていく。

株式会社279は、居宅介護支援事業所を自社で運営しながら、バックオフィス・介護DX・仕事と介護の両立支援まで、4つの柱でケアマネジャーが活躍できる環境づくりに取り組んでいます。



日々の記録を、 ひとつの流れに。

現場の使いやすさから生まれた、8つの主な機能

目録 ログ統合記録

訪問・電話・
モニタリング・
担当者会議など10種類の
記録を1画面で作成し
ます。

🔗 F-SOAIP 構造化記録

厚生労働省が推奨する
形式に対応。
Focusから
S・O・A・I・Pへ自然
に記録できます。

🕒 期限管理・ 自動アラート

認定有効期限・
モニタリング期限を90
日前からお知らせ。
毎朝8時に自動チェック
します。



統合データベース 連携

利用者情報・
保険証データを
279統合DBから
自動取得。
二重入力をなくします
。

📠 FAX自動仕分け (inbox)

届いたFAXをAIが
読み取り、利用者別・
文書種類別に仕分けて
記録へ紐づけます。



AIによる記録要約

支援経過記録・
モニタリング記録・
アセスメント表・
サービス担当者会議の
要点など、
ケアマネ業務に必要な記
録類すべてをAIで要約しま
す。

📁 ファイル添付・ PDF出力

写真・PDFを添付。
録音した音声ファイル
も記録に添付できます
。
PDF出力で実地指導に
も対応します。



スマホ・ タブレット対応

訪問先からその場で入
力。
Google認証のため、
パスワード管理が不要
です。

🛡️ 安心して使い続けられる、5つのポイント

介護事業者による
自社開発

Google認証で
ログイン

変更履歴を
自動保存

実地指導対応の
PDF出力

定型文
テンプレートで時短

— 導入の流れ

1

お申し込み



2

初期設定・
利用者情報の取り込み

3

操作説明



4

運用開始

株式会社279のサービス

ケアマネジャーの働き方を支える、4つの柱

居宅介護支援

つなぐ手 ケアプランセンター

多様な資格背景をもつ
ケアマネジャーが
協力して支援します。

バックオフィス支援

まかせ手 オフィスサポート

人事労務・経理・
書類作成など、
介護事業所の事務を
支援します。

介護DX支援

hand in hand

ICT化と業務効率化を、
課題に寄り添う伴走型で
支援します。

仕事と介護の両立支援

むすぶ手 サポート

企業の両立支援と、
従業員の介護離職防止を
サポートします。



—— タブレット活用のご提案

メモを取る時間を、 利用者の話を聴く時間へ。

タブレットの録音機能とCareNoteを
組み合わせた、現場での活用方法
をご紹介します。iPadなどのタブレットを
机の上に置いて録音。面談中は画面ではなく
利用者に向き合い、会話を大切にできま
す。録音は、利用者の同意を得たうえで
行ってください。



利用者宅での活用イメージ



録音を、 記録作成の 確かな材料に。

その場で
書き切ろうとせず、会
話を振り返りながら記
録を整えます。

1

説明して、 同意を確認

録音する目的と
取り扱いを
事前に説明し、
利用者の同意を確認
します。

2

机の上に置いて録音

タブレットを安定し
た場所に置き、
利用者の表情や言葉
に集中します。

3

振り返って記録

録音内容を確認しな
がら、
CareNoteで
支援経過記録を作成
します。



録音前の説明と同意を大切に。録音データは、事業所の個人情報保護方針に沿って適切に
取り扱ってください。



—— 訪問も、担当者会議も

大切な会話を、 ひとつの記録の流れに。

タブレットで録音した内容を振り返り、
CareNoteで記録を整理。音声ファイルも
記録に添付できます。



サービス担当者会議での活用イメージ

訪問・モニタリング

利用者との会話に集中

タブレットを机上に置き、
表情や言葉を受け止めながら
面談します。

担当者会議

発言を振り返る材料に

複数の参加者による会話を
録音し、
会議録を整理するときに
確認できます。

記録の整理

記録と音声をひとつに

CareNoteで記録を作成し、
必要に応じて音声ファイルを
記録へ添付します。

タブレット録音を活用する基本の流れ

STEP 1

目的を説明し
同意を確認



STEP 2

タブレットで
会話を録音



STEP 3

録音内容を
振り返る



STEP 4

CareNoteで記録・
音声を添付

まずは、お気軽にご相談ください。

導入のご相談・お見積り・オンラインでのデモンストレーションを承っています。
「まず話を聞いてみたい」という段階でも構いません。

☎ お電話

050-1741-3279

受付時間 平日 9:00～17:30

FAX 03-6771-9912

メール 279@279279.net

🌐 ウェブ

<https://kaigo-dx.com/>

QR